磐城毎日

社長 大和田與兵衛
發行所 福島縣平市15丁目12番地
株式會社 磐城毎日新聞社
編集兼印刷發行人 遠藤孝倫
電話（平）一二一〇番
定價1ケ月50円 1部2円
【夕刊・月曜休刊】

投稿歡迎

平大通りの最終工事
舊新川の架橋愈々着工

復興事業

平市の廿五年度に於ける各種の戰災復興事業中市民と最も結びつきのある目立つた事業は平大通り（卅米道路）の完成特に三丁目の目抜きの場所に頑張つて長期に亘つて揉みに揉んで關係當局を手古摺らした横山商店と大谷武雄氏宅の移轉問題の解決及大町通りの目下完成を急ぎつゝある東北配電會社前より地區警察署前に至る廿四米道路の擴張工事等であるが大通り（三十米道路）の工事中の主なる工事で殘されていたのは大町から小太郎町に通ずる舊新川の架橋工事であるがこの架橋工事はこの程指名入札を行つた結果磐城土建工業株式會社（社長強口唯七郎氏）に落札し磐城土建では既に材料も整つたので近々中に着工する事となつた、この工事は廿五年度に於ける平市復興事業中の最終のものとされている

當局自慢の新設計
三月末竣工する豫定

舊新川のこの架橋工事費は所要材料中セメントは縣支給で八十六萬五千圓で落札したもので縣支給のセメントを價格に見積れば百二十萬圓程度の工事費となる譯けである、この橋は普通の橋とは異つた設計であつて暗きよ式橋梁とでも云うべきもので舊新川の中央に幅四米五〇、東西の長さ三十米のコンクリートの暗きよを作り兩岸は土盛りして埋め立て路面を補裝しその兩側を石積みとし橋の兩側には御影石にパイプを通した手摺りを取りつけ伸び行く近代都市平市に應はしいもので復興事務所自慢の設計の一つである、完成は三月末日の豫定でこの橋が完成すれば曲折を極めた平市の幹線道路である大通りも最後の仕上げを殘しただけで殆んど完成する譯けでジヤングル街道とまで渾名された平大通り（三十米道路）も三月末までにはこの橋梁の竣工と横山商店及大谷氏宅の移轉によつて面目を一新する譯けである

高木平市議急逝す
二十七日菩提院で告別式

平市會議員高木喬氏は腦溢血の爲め二十六日午前七時三十分自宅にて急逝した、氏は當日上小川村の親戚の結婚式に參列し午後五時頃その席上で倒れ直ちに附近の醫師を呼び手當てを加え更らに平市から難波醫師が急行したが重態で再起の見込なしとの見極めがついたので午後十一時自宅に運戻つて加療中であつたが遂に長逝するに至つたものである享年五十一才、氏は明治卅三年九月青森市米町に生れ大正十二年來平、常磐毎日新聞、いはき新報、報知新聞等を經て自ら新聞を發刊する等新聞人として活躍し昭和十六年代書業に轉じ二十二年四月市會の改選に際し二十八區より推薦されて出馬當選し現在に至つたもので來るべき改選期には再び同區より推されて出馬する筈であつたもので氏は市議の外物價監視委員長、市會の第四部副委員長其他市の公共的事業或は行事等あらゆる方面に關係し異色ある存在として認められていたもので氏の急逝は各方面から惜まれている、尙告別式は廿七日午後三時自宅出棺午後三時より菩提院に於て執行される

父喬儀本二十六日午前七時三十分腦溢血の爲死去致しましたので生前の御厚誼を謝し併せてお知らせ申し上げます
追而告別式は二十七日午後二時自宅出棺市内菩提院に於て營みます

昭和二十六年一月二十六日
平市小太郎町三八

嗣子 高木普一
親戚總代 渡邊覺壽
友人總代 馬目武之助
鈴木正男

濱三郡工業センサス 實施の打合せ會

石城地方事務所では二十四二十五の兩日工業センサス打合會を開き濱三郡の各町村より七十二名の係員が參集、工業經濟の根幹をなす基礎統計即ち四人以上の從業員を使用する事業者の從業員數、賃金、事業別及生産品の種別等詳細にわたつて調査し來月二十日までその調査を完了する事となつた、この調査は全國一齊に行われGHOからの要望もあつて確實な事實に基いて調査する事になつた、地方事務所ではこの調査は税金の對象等にするのでは絶体にないからありのまゝを報告して欲しい若し隱した事などがわかれば罰則も設けられて居る事で充分注意して欲しいと言つて居る

山田商店で錫の盜難

平市仲町十八古物商笠野和市さん（五〇）は二十三日午後三時から翌二十四日午前十時頃までの間に平市十五丁目六山田商店においた錫三寸角及平型になつたもの等一萬五千圓相當盜まれ二十五日市署え屆出た

鐵クズ泥に懲役二年

常磐炭礦湯本礦六坑資材係大木茂（三七）は二十三年十二月より昨年九月までの間に同坑資材倉庫より前後十五回にわたり便利瓦鐵線クヅなど合計一萬八百八十點九十五萬二千五百九十五圓相當を盜んだ疑で起訴されていたが二十三日平地裁で懲役二年（求刑二年）執行猶豫の判決言渡があつた

落盤で重傷

茨城縣關本炭礦左卸三方で採炭夫塚原治信（二九）さんは落盤のため頸部脱臼全治約二ケ月間の重傷を負つた

二十六日 晩は北西の風晴
二十七日 北西の風晴一時曇り
二十八日 引き續き良い天氣の見込海上はこゝ一兩日おだやかですが西よりの風に依り波立ちますから小型漁船は注意を要します、なお空氣が乾燥して居りますから火の元に御注意下さい

磐城産業文化祭審査報告（1）
審査長 荒井敬助

附記
昨年十二月一日より三日間平市に於て開催された第二回磐城文化祭に於ける出品物に對する荒井審査長の審査報告は地方産業發展の好指針であり貴重な文獻であるので當局に乞い本日より連載する （係）

…に第二回磐城産業文…式を擧行せら…を…とするところで…す、今回の出品總點は一、〇八八點外審査外一、五〇〇點合計二、五八八點であり農産物に於ては穀菽類の出品は一一四點であり内一等二點、二等五点…等九點、四等一六点、計三十二點を褒賞致しました之が概評を申上げれば

米は病虫害の多發せるにも拘ず其の品質良好にして調製も亦良好なりと雖も乾燥稍不良なるは遺憾である之を品質より見れば農林一〇號は一般に良好にして、農林二九號は之に次ぐものである、其の他栽培上の欠陥は概して少きも土質不良にして銹米の混入せるもの特に農林二九號、農林二一號に見受けられた將來栽培に當つては品種の選定については本郡には未だ適品種が見當らないのであるが昨年度より縣園藝原種農場を中心として平市及郡下十六ケ町村に於て適品種檢出試驗に當つて居るので近き將來に於て當地方の氣候土質に好適する多收良質の品種を決定出來るものと信ずる尙適品種の選擇と土質の改良耕種技術の改善病虫害の防除の徹底を期し磐城米の聲價を戰前に增し向上せしめなければならない

大豆は品質及調製は稍良好なれども乾燥不十分なるもの多し叉品種の選定に於て在來種の栽培多きは遺憾であるが本郡は概ね旭峇號一部山間地帶は目白一號等が有望であると認めるので昨年より國營原種農場其の他採種場に於て採種せるものを地方事務所農業改良指導所に於て之等優良品種の普及に努めて居るので近く之等に置き替えられ栽培法に於ても從來平均反收僅に七斗程度であるが既に本郡に於ても二石八斗以上の反收を上げつゝある者も出來たので優良品種の選擇と移植摘心施肥料の改善等栽培技術の改良により良質多收の實を擧ぐることは遠いことではないと思ふ （續く）

當選御禮

毎度有難う御座います
皆樣の御聲援に深く感謝致します
と共に皆樣の御期待に副ふやうに
努力致しますから宜しく御引立下さい

昭和廿六年一月廿六日

順不同

菅本商店	一丁目
梅原商店	三町目
丹野米店	五丁目
三森米店	五丁目
酒井米店	五丁目
伊東米店	立町
渡部商店	七町目
磐炭購買會平配給所	禰宜町
井筒屋米店	鎌田町
根本米店	鎌田町
鈴木米店	向鎌田
片寄米店	向鎌田
大室屋本店	新川町
山崎米店	月見町
マルニ精米店	月見町
高萩精米店	月見町
永山米店	谷川瀬
坂本米店	南町
白土屋米店	南町
岡田米店	南町
平生活共同組合	南町
大町米店	大町
關內米店	長橋町
長瀬米店	材木町
馬目精米所	紺屋町
久保木米店	古鍛冶町
古田部商店	久保町
須藤米店	杉平
花澤商店	胡摩澤
伊藤米店	胡摩澤
加藤米店	北目町
松屋米店	柳町
福島屋米店	柳町
奈良米店	仲間町
鐵道購買組合	白銀町
志賀米店	白銀町
石島商會	白銀町
石井米店	大工町
平市農協組合	平窪

磐城毎日新聞

偉大な母 (4)

……ーリに見……ラ……したラ……見ながら、そう思……はいられませんでした

翌年夫人はこの功績によつで二度目のノーベル賞を受けました、同じ年夫人はフランス學士院の會員に推せんされました、世界大戦の勃發する直前に、ソルボンヌ大學はラジウム研究のために、特にラジウム研究所を創設し。夫人をその所長に任じました世界大戦が起るや傷病兵の治療のために研究所を出て、戦線をかけまわりました

ラジウム放射線の照射によつて偶々病を治療する方法は夫人が發見したので世にキューリー療法と、となえられています ラジウム放射線は悪性の種ように特効があり、今まで不治と考いられていた「ガン」等もこの治療法によれば快癒するのです、夫人が陸軍病院その他に五ケ年に渡つて傷病兵の治療につくした功績は、まことに大きなものが有りました、世界大戦が終つてからその死に至るまでの夫人は名譽につつまれて居ました

一九二一年アメリカを訪れた時には、アメリカの夫人達は全女性のほこりである、キューリー夫人の名譽を讃えるために大統領ハーデングを通じて、一グラムのラジウムを夫人に賜りました、一グラムなんて、そんな僅かばかりをどうするんだと、皆さんは考いるかもしれません「だが」それは僅かどころではありません、ラジウムは、最初にキューリー夫人が一トンのピッチブレンドから抽出した時も、たつた數ミリグラムしかなかつたのです、それほど高價な物ですから、値段の高い事も特別で、一グラムのラジウムは二十五萬ドル位いもしたのでした、一九二二年にはフランス醫學協會はラジウム療法の創始者としての夫人の功績を賞するために、滿場一致で夫人を會員に推せんしました、そのよく年の十月二十六日には、ラジウム發見二十五年記念の大祝賀會がパリーで開かれました

（續く）

重要港灣指定の對策
陸上施設の完備が急務

小名濱港

小名濱町々會議員立花秀吉氏港灣對策委員長は港灣法の實施と共に小名濱港は重要港灣として繼承されるか或は地方港灣に格下げされるかの瀬戸際にあたり昨年夏格下げを防止する爲め町議會は對策委員を擧げ立花氏が委員長の重責を負うたものであるが小名濱港は愈々重要港灣として全國四十七港の中に加へらるゝに至つたのであるが今後は更らに港灣利用の對策として廻船の吸收に全力を注がねばならない重大なる使命を帯びるに至つたわけである、地元船は勿論廻船の吸收策として陸上設備に力を注ぐ必要を生じたもので製氷、冷凍、冷藏工場の建設急務であり、町當局は漁業協同組合と協同の姿で設立に要する見返り資金の融資に馬力をかける事となり氏は之れが委員長の格で、去十九日から二十二日までの間、福島、東京間を往來し此程歸町運動の經過を左の如く發表した、

對策委員長の運動經過報告

縣廳では大竹知事も大和田副知事も、水産課長も町當局が主力を注ぐ以上全面的の應援は辭さない殊に農林省が乘り氣になつて見返資金の融資が可能となつてはあくまで小名濱町の爲めに援助をする事がやぶさかでないと明答を與へて居る、資金融資の面では中金福島出張所次長阿部文男氏も日銀支店長の味田順三郎氏も漁業家とは別個に小名濱町の熱意に動かされ出來る限りの援助は決して辭さぬと確答を與へて呉れた、東京水産廳では見返資金係の和田磯部、油井の各事務官に面接して懇願をしたが何れもこの事業に對し特別の考案を持つて呉れた、それは今日迄出願が七十件にも及んで居るが何れも株式會社の營利會社に依つて出願されて居るのであるが、小名濱町では公共團体の福祉事業とし公益的に建設せんとするのであつて、其目のつけ處が違つて居るだけに大いに期待さるゝ處がある、昨二十五年度の分は最早締切て餘裕がないから二十六年度即ち二十五日から開會する第十回の通常國會に於て二十六年度の枠が決定するからそれ〱の主務當局に陳情するのが効果的であらうと云ふ事で前途が明るくなつて來た國會開會中再び上京して陳情を續けるべきであつて此機會を外しては又と云ふ時がなくなるので町當局は更らに一層積極的に乘り出すべきである

小名濱のお米屋
今後の經營が問題

小名濱町の米穀配給の登錄の結果は三十二軒中僅かに一軒の失格者を出しただけで何れも登錄線上に留つた殊に從來配給所であつた第一から第九に至る成績は第一配給所の二、七七〇餘名の絶体多數を獲得したのを初めとして二、三、四は何れも千四百以上であり五、六、七、八、九は七百以上であつた事は現在取り扱つている强味である、一般から不思議と見られているのは全然農業で立つ柳内兵左工門氏松本孫右エ門氏が何れも五、六百名を獲得した事である、更らに問題視されているのは登錄店の今後の經營であつて配給の手數料のみで生活するとすれば現在の制度では、千名以上の登錄者がなければ營業として立ち行かぬ事は明で相當窮屈なる生活の中に暗に競爭が展開されるものと見られている、今後の登錄店としての經營は決して安閑たるものでない事は現實の問題であり相當の苦勞も伴う事は必然で五百名以下の登錄店は普通では經營が成り立ないので生活水準を下げるか、或は別に內職をせねばならないと云う結果になり、今後の登錄店は頭痛鉢巻きの姿であると見られる

小名濱通信 (2)

當然我物として、植林などやつて今日に至つた然るに共葬墓地が、第二中敷地と轉用したので放置して居た土地が必要となり是れを立木は伐採原野は埋立てをすると云ふ物騷なる問題と變つて來た、現地主の某は甚だ共意を得ないと施行者の町役場に敎育課長に談判すると既に買收濟みで代金迄支拂濟みだから他からの故障は一切ある筈ないと一蹴したからたまらない所有權の登記は地主某にあらずして吾輩にあるので町が買收したならばなぜ移轉登記をせないかと、威丈高に論陣を張つて詰めよつた、課長もよく考いると登記のしたか否かが疑問であるので調べて見ようと一事は其場をにごしたが其先生それからと云ふものは毎日町役場に詰めかけて證據書類の請求には町側も閉口して仕舞つた、其後の地主は記者の知り合であると云ふ處からお鉢を記者の方に廻して來た、其處で會見もし、實態の調査もして見ると全くデリケートの問題が能く伏在して居たものだと不思議でたまらない、該土地の眞の地主は昭和六年に死亡して居る、其嗣子が相續の手續もせないで十六年十二月町が買收計畫に對して贊同して代金を受領して居る、處が其人も昭和十七年の七月に死亡して仕舞つた、其處で町では其儘となつて今日に至つた、然るに死亡した後繼者がない爲めに推定の家督を親族會に依つて其妻が相續したそして例の土地に對しては勿論相續する譯けだが未登記である爲めに保有登記を十九年四月十九日になして今日賣買して居る沿革が保存されて居る、これでは町側もどうにもならないが少くとも市町村議會は立派な法律行爲である以上、代金まで拂つた以上は町の物として殘存するのが常識である以上相續人は二重賣りをやつたと云ふ結果を産み出す恐れがないとも限らない、是れは町側と現所有者との妥協以外に方法がないと云ふ新らしき事實に出會つてこの土地をめぐつて渦巻きを初めて居ると云ふのであるが、公共團体の仕事は得てこんなものが普通であるが、町は今中學校敷地の爲めに施工して居る、事情から現地主に讓歩して貰ふより外に手のないものである事を關係者に告げて相互善處する事を說明して解決案とすべき事を告げたが果してどうなるかは今後の問題である

平市の碁將棋
街頭から姿を消す

街頭碁打ちは直接に法的に取締まれないので道路交通取締法を適用し間接に道路の使用を許さないといふ方法で平市内目拔通りなどで店開きして居る街頭碁打ち約五名の一せい追放を行つた、これで平市内から街頭の碁將棋打ちは全部締出されたわけで市署では今後絶對街頭の碁將棋打ちは許さぬと言つて居る

幸運の煙草くじ
舊城跡の野口さん握る

去る二十日福島市公會堂で抽籤された煙草くじの五十組の一等一萬圓の幸運が平市舊城跡十一野口武男さんに當つた、野口さんは國鐵湯本自動車部に勤務朝出勤の途中平郵便本局側のさかえ屋から買つた福引券の中に幸運が舞ひこんで居たもの、奥さんのテルさんは第三小學校に勤務はづかしいから發表しないで下さいと嬉しそうに話して居た

燃料の寵兒

優秀 ㊀印 炭團（たどん） 一箱九十六個入

木炭生産業者が木炭粉を原料として造つた良心的優秀品!!

一、火力絶大一個十二時間は優に持ちます
一、價格低廉生産實費で卸小賣致します
一、御用命あり次第迅速に配達します

平市鍛冶町 磐城貨物自動車會社前
新炭生産移出問屋 渡重商店直賣所 電一二九三番
◎臨時配達人急募

毎度有難度う御座います
自家製造家具の安い店
家具の御用命は是非當店
桐タンス 本塗タンス
洋服タンス 各種
平市新川町
伊東家具店
電四六四番 ヨロシ
工場 平市大町

27日より4日まで
夕刊讀賣新聞百萬讀者を熱狂させた川口松太郎評判小說の映畫化
大映 宮城廣場
キヤスト
山根壽子 河村黎吉
乙羽信子 二本柳寛
久我美子 長谷部健（新人）
三益愛子 森雅之
世界館

季節の寵兒!!!
文化木炭（厚生大臣賞推）
▼▼火持よく危險のない
▼▼臭氣なく經濟的な
木炭の敵？ 加工燃料！
▼▼コタツ、火鉢用に最適
卸小賣、配達迅速
▼各種燃料取扱
平市正月町六六（電話一二八四番）
製造販賣 有限會社共榮燃料工業所
小名濱町船引場（登記所前）
共榮燃料小名濱出張所